

Global Classmates

by Kizuna Across Cultures (KAC)



米国政府認定NPO 501(c)(3)取得

Global Classmates(グローバル・クラスメート)は、日米の高校でペアを組み、6ヶ月間の継続的なオンライン交流を通じてコミュニケーション能力、異文化理解に対する積極性、英語力などを育む教育プログラムです。

海外の生徒とクラスメートになって、一緒に互いの言葉や文化を学びましょう！



生徒同士の交流の様子



Sophie Germany

これは私のバッグです。バッグの中にノートやきょうかしょがあります。日本でCAMPUSノートをかいりました。中国語と日本語のノートです。そして、絵のノートがもっています。絵を書くことが好きです。私のホストのクラスでくれたしたじぎももっています。



Wed Jan 21, 2015 at 11:38 am · Unlike 😊 3 · Reply



Sarah US School

これは私のバッグです。バッグは青いです。一年生時このバッグを買いました。Rilakkumaとかディズニーのストラップがある。バッグの中いろいろな事がある。バッグの中で、きょうかしょとかソートとか本とか計算機とかさし心とかイヤホンがある。This is my bag. My bag is blue. I brought my bag when I was a first year student. I have a Rilakkuma and Disney strap. Inside my bag I have various of things. Inside, I have a textbook, notebook, book, calculator, a wallet, earphones,etc.



Wed Jan 21, 2015 at 11:46 am · Unlike 😊 5 · Reply



Ayako Japan School

Do you like Rilakkuma ?

I has a friend who she like Rilakkuma very much.

By the way , as for me ! Rilakkuma is very cute ❤

Do you think so , too?

Fri Jan 23, 2015 at 2:48 am · Like · Reply

Sarah US School

YES!! I love Rilakkuma it's very cute. はい!! Rilakkumaが大好きです。かわいいですね。

Sat Jan 24, 2015 at 12:08 pm · Like · Reply

日米で贈りあう Omiyage Exchange



Videoで伝える日本のジェスチャー



かたじけない

PCでのコメント投稿の様子



KACについて

将来を担う世代に、お互いの生きた言語と文化にふれあい、共にグローバルな意識・広い視野・未来へのビジョンを育んでもらいたい。Kizuna Across Cultures (KAC/キズナ・アクロス・カルチャーズ)はそんな思いを形にするため、元JET教師である米国人、当時米国大使館で働いていた日本人などを中心として2011年に米国ワシントンD.C.で結成されたNPOです。

日米の教育・外交関連政府機関、参加校の先生・生徒などとのやり取りを通じ、新たな教育の形を議論しながら、教育プログラムを提供しています。

企画・運営する「Global Classmates(グローバル・クラスメート)」では、専用のSNSページ上で日米の生徒がコメントのやり取り、写真・動画の投稿を通じた交流を行います。KACのコーディネータなどのスタッフが各ペアをサポートし、一緒に生徒の交流を盛り上げます。



協賛団体

Global Classmates プログラムは、米日財団、トモダチ・イニシアチブ、および駐日米国大使館から助成を受けています。



取材・メディア掲載



Above: キャロライン・ケネディ在日米国大使よりビデオメッセージ (2015.2.11)



Left: 米国PBS放送局により製作された「This is America & The World」にGlobal Classmates の石巻高校が紹介 (2014.6.4)



© 2015 Kizuna Across Cultures. All Rights Reserved

Global Classmates参加生徒・先生の声



生徒

単純な英語でも伝わることを発見。難しい英語を使わなくなり、表現が増えた。

日本人が勝手に思い込んでいる外国のイメージを実際のチャットを通じ本当のことが分かり、興味深く、わくわくした。



生徒

日本語を話す人と実際に会話でき楽しかった。日本文化が前より好きになった。

日本語を書くスピードが上がった。以前ほど辞書を使ったり調べたりしなくても書けるようになつた。



先生

英作文の問題に白紙で出すことが少なくなつた。英作文とヒアリングを中心に、参加生徒の模試の点数が大幅に向上した。

普段の授業では取り組めなかった英語劇や歌なども体験することができた。

海外高校生との7ヶ月間に渡る継続的な交流は、英語科の目玉プログラムとして学校説明会などでもアピールしている。



先生

デジタル世代の子供達にピッタリのスタイル。気軽に交わされる自然体の会話に、教科書や授業で習わない「生の言葉や今の文化」が含まれている。

カリキュラムに組み入れることによって、クラスで学んでいることと相乗効果を出せる。

様々なご支援

文部科学省、ルース前駐日米国大使、藤崎前駐米日本大使、日米協会マロット大使、米国の日本語AP(Advanced Placement)教師コミュニティなど、KACの掲げるビジョンとその活動は、日米の教育関係者、外交関係者に賛同いただき、多くのご支援をいただいている。



訪米時のレセプションにて安倍現総理大臣と



教育関連意見交換会にて下村文部科学大臣と



米国大使館にてルース駐日米国大使(当時)と

問合せ先

email

Japan@KACultures.org

hp

kacultures.org

facebook

Kizuna Across Cultures